

三鷹駅北口パブリックスペース利活用社会実験の報告

これまでの経緯・背景

平成29年策定の「三鷹駅北口街づくりビジョン」に位置づけられた「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」を目指し、「快適に移動でき、安全で歩きやすい街」及び「玉川上水の豊かな緑のもとににぎわいが生まれる街」を実現するため、パブリックスペースを活用した社会実験を実施しました。

実施にあたっては、平成30年度に実施した三鷹駅北口街づくりラボでの意見交換を踏まえ、空間活用の実現性が高いかたらいの道と桜通りを車両通行止めとすることとし、地域の企業・団体等と企画や調整を進めました。

2017年度

三鷹駅北口街づくりビジョン

三鷹駅北口地区の概ね10年後の目標像を描き、3つの視点から街づくりの方向性と考え方、その実現に向けた取り組みを示しています。

2018年度

三鷹駅北口街づくりラボ（三鷹ラボ）

既存の公開空地や道路空間などのパブリックスペースの活用について、講話や視察、ワークショップなどを通して、地域の事業者・住民・企業の方々とともに学びました。

社会実験検討

2019年度

三鷹駅北口パブリックスペース利活用社会実験

三鷹駅北口周辺のパブリックスペースを活用した、地域連携によるまちづくり、にぎわい創出の検証を行います。

① パブリックスペースの利活用

② 交通規制（一部区間車両通行止め）

社会実験の実施概要

三鷹ラボで生まれた企画案を基に、地域の企業・団体等と連携しながら、「三鷹駅北口ならでは」の取り組みを4日間限定で実施しました。



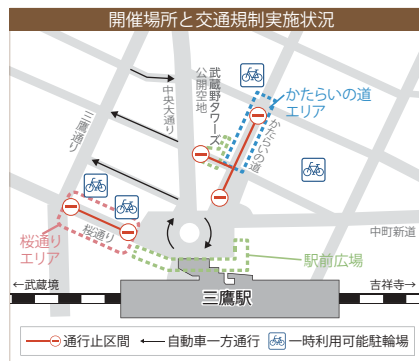
ENJOY OPEN STREETS 武蔵野

開催趣旨

三鷹駅北口周辺のパブリックスペースを活用した、地域連携によるまちづくり、にぎわい創出の検証

実施場所

- ・かたらいの道
- ・桜通り
- ※土日は、武蔵野タワーズ公開空地及びタワーズ南側道路でタワーズマルシェ、三鷹駅北口駅前広場で商店会秋の祭礼を同時開催



▲ 位置図

実施内容

社会実験

- ① パブリックスペースの利活用
- ② 交通規制（一部区間車両通行止め）

企画内容

○ みちあそび

- ・遊具等を活用した遊び
- ・路上の落書きや掃除
- ・芝生広場でのサッカー、ラグビー体験等

○ マルシェ

- ・タワーズマルシェの拡大

○ 飲食（オープンカフェ等）

- ・地元飲食店による出店
- ・飲食スペースの提供

実施期間

2019年9月19日(木)～22日(日)

交通規制 7時30分～19時30分

（イベント開催時間 10時～18時）

イベントスケジュール

	時間	19日	20日	21日	22日
かたらいの道	○ミニサッカー体験・体操など（幼児向け）	午前10時～午後6時	●	●	●
	○ラグビー体験 パスやラインアウトなど、ラグビー動作の体験イベント	午後3時30分～5時30分			●
	○みちあそび（チョーク、昔遊び、縄跳びなど）	午前10時～午後6時	●	●	●
	○かえっこ （遊ばなくなったおもちゃや絵本を持ってこよう）	正午～午後6時			●
桜通り	○地元商店や地域を代表する大手外食企業による飲食スペース	正午～午後4時		●	
	○みちあそび	午前10時～午後6時	●	●	●
	○オリジナル缶バッジ&マイ箸を作る プロの指導によるカンナを使った著作。かき水もあります	午前10時～午後4時		●	●
同時開催	○えきいんどあそぼう （景品がなくなり次第終了） 子ども駅長制服を着ての記念撮影、電車めり 絵コーナー、マジックハンド体験	正午～午後4時			●
	○子ども向け体育スクール体験	午後1時～3時		●	
	○タワーズマルシェ @むさしの 場所：武蔵野タワーズ 公開空地	正午～午後6時			●
○三鷹駅北口商店会 秋祭 場所：駅前広場	午前11時～午後5時			●	●

▲ かたらいの道（木曜日）

▲ 社会実験期間中のイベントスケジュール



▲ 桜通り（木曜日）



▲ かたらいの道（土曜日）



▲ 桜通り（日曜日）



社会実験の結果

社会実験では、子育て世代を中心に多くの利用があり、居心地の良い空間と質の高い多様なアクティビティに高い評価が得られました。調査結果等の一部をご紹介します。

※ 数値データはかたらいの道のものを用いています。

活動の多様性*

人の活動には3つの種類があり、必要活動はどんな条件であっても起こるが、任意活動や社会活動は空間の質が高い時に多くなると言われています。

(デンマークの建築家ヤン・ゲール)

必要活動

学校や仕事に行く、人を待つ、人から頼まれて行うなど、必要に迫られて行う活動



任意活動

散歩をする、飲食・読書をする、景色を楽しむなど、好んで意図的に行われる活動



社会活動

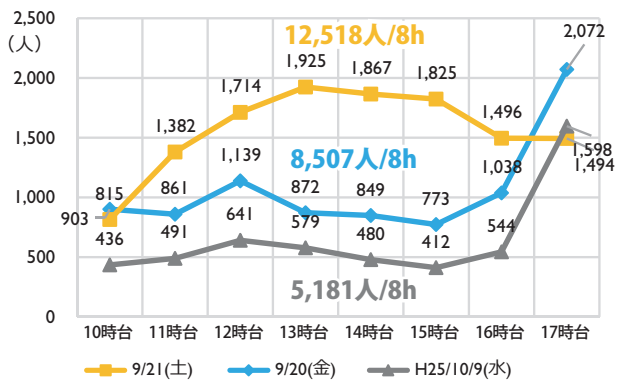
あいさつや会話、各種のコミュニティ活動、周囲の人を眺めるなど、人とのふれあいの活動



*公共空間の活用の評価は、利用者数や売上額などの指標だけでなく、活動の多様性や滞在時間といった指標が重要とされています。

通りの利用者数

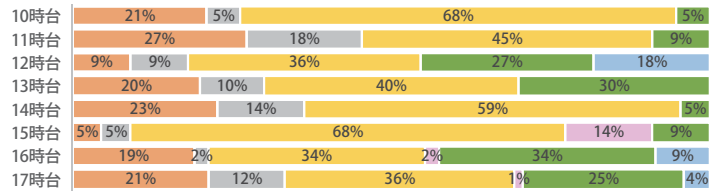
かたらいの道では、通常の平日と比較すると、社会実験中の歩行者は8,507人/8hと約1.6倍増加しました。また、社会実験中の休日の歩行者は、平日に比べ、12,518人/8hと約1.5倍の利用者がありました。



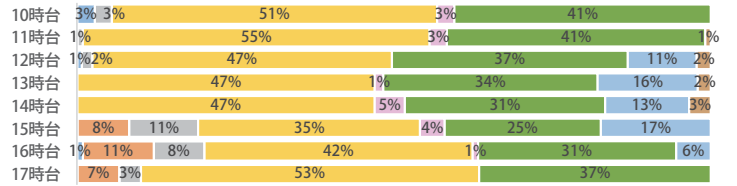
▲かたらいの道の歩行者数

普段は移動などの「必要活動」しかない通りですが、社会実験中は遊びや会話を中心に多様な活動（任意活動・社会活動）が見られました。

平日(9/20金)



休日(9/21土)

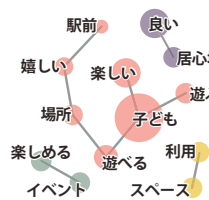


■移動・通行 ■イベントに参加 ■イベント等の観覧・写真撮影 ■自由に遊ぶ ■休憩・スマホ ■読書 ■会話 ■飲食 ■買い物

▲かたらいの道(車道空間)における活動

利用者の声

- ・車が通らないことで三鷹駅北口ののどかさを感じ取れた。
- ・駅前に遊べる場所が少ないし、子どもの声が周りの迷惑になると思ってしまうので、堂々と子どもを遊ばせることが出来て嬉しい。
- ・みちあそびの様子を見て、子どもたちが街で育つことを実感した。
- ・時々ならいいが、車や自転車が通りづらくなれないか。



アンケートの意見をテキスト分析すると、「子ども—遊ぶ・遊べる・楽しい」「スペース—利用」「イベント—楽しめる」「遊べる—場所—嬉しい—駅前」「居心地—良い」といった組合せの意見が多く、取組みへの共感を得られていることがうかがえました。

参加団体の声

- ・飲食ブースに450名の来店があったのは想定以上であった。(飲食店)
- ・BtoB(企業間)のビジネスを行う業種は関わりづらい。(サービス業)
- ・大人向けの企画ができなかった。
- ・イベントだけでなく、常設の利活用スペース(オープンカフェなど)ができると認知度が高まる。

今後の事業実施に向けて

今回の社会実験や三鷹ラボの結果を踏まえ、今後市では、地域の企業や団体によるパブリックスペースを活用した事業展開をサポートするとともに、新たな視点として「日常的な継続利用の効果」を探る社会実験などを皆様と共に検討していきたいと考えています。

引き続き、目指すべき街の姿の実現に向けて、街に関わるあらゆる方々との一層の連携を図り取組んでまいります。

